

旬な現場～若手技術者の紹介

平成30年度
衣浦港中央ふ頭西地区岸壁(-12m)改良工事



発注者：三河港湾事務所
受注者：(株)河村産業所

2013年入社 梅村京平



■建設業に入った動機・魅力

私の生まれ育った町が、台風の影響による河川の増水で堤防が決壊し水没したことがある。子供の頃から私達の生活を支える為に行われている河川部や都市部の水害対策工事に興味を持っていました。日頃、『何も知らずに暮らすこと。』それが当たり前になっていいますが、私達の暮らしの身近な所に隠れている施工技術、技術者や労働者の努力の結晶があることを知り、人々の『当たり前の安全・安心生活』を実現する事が建設業の魅力の一つだと実感しています。

■建設業入職を希望する若者へ

「ここは俺が作ったところだ。」と言える事が自慢出来る職種です。仕事の内容は厳しい時もありますが、完成した時のスケールの大きさや「やった」という達成感を感じられる職業です。ものづくりの楽しさを感じつつ、仲間と共に社会貢献の一役を担っていきましょう。

■現場での役割

現場が進捗するにつれて日々仕事の内容が変わっていきます。材料の数量チェック、進捗と出来高の確認、さらに協力会社やふ頭利用者との打合せを通じて、円滑に現場運営ができるようがんばっております。現場で一番重要なことは、協力会社の世話役や作業員の方々とコミュニケーションだと思っています。作業内容を正確に伝え、相談し合い、現場がスムーズに進む事を念頭に行動しております。

■工事概要

衣浦港中央ふ頭は港の中心に位置し、江戸期から醸造業が栄え、製造蔵が運河沿いに建ち並ぶ風情ある景観を作っています。

中央ふ頭の海側に、本工事箇所である昭和53年に供用された中央ふ頭西6号岸壁があります。主に、外貿貨物船により、木材チップを扱う岸壁となっていますが、老朽化が著しく、補修・補強が必要となっています。

